

浜嶋です。

おはようございます。

制服が好きな人や嫌いな人がいますが、制服がかっこいいということを考えたことがあるでしょうか。

私は、制服が好きな方です。デザインに関わらず、制服を着た人が多数集まればかっこよく見えるはずです。

でも、そうでない場合もあります。

かっこよく見える理由を考えてみましょう。

1. 着こなしで本人の気持ちが分かる

制服を着ている人を見ると、3つの評価に分かれます。

- ・「かっこいいな」：本人が意識して準備して、着ている
- ・「何にも感じない」：ただ着ているだけ。
- ・「だらしがないな」：制服が嫌いかもしれない。自分の好きなように着ている。一員として自覚がない。

かっこいい場合は、3つの要素があります。

(1) 制服自体がきちんと整備されている。

- ・アイロンが掛けられて、折り目が付いている。生地がまっ平らになっている。特にズボンの折り目は大切。昔は子どもたちは寝押しをしていましたが、今はできない。
- ・ネッカチは、細く丸められ、先が揃っている。後ろのワッペンがきちんと伸びている。
- ・スカウトやスカウト経験のある指導者は、年功章と名札を付ける。指導者は、WB 研修所修了章を付ける。その上にさらに5年～20年の特別年功章、県連有功章。
- ・イベントのための特別なワッペンを付ける。掲示が終了したワッペンははずす。22団の40周年式典でローバー隊員が23WSJのワッペンをまだ付けていました。外す時期から1年4カ月も経過している。

(2) 着こなし

- ・上着のポケットやズボンのポケットのボタンが止めてある。
- ・上着の後ろがズボンの中にきちんと入っている。
- ・上着のポケットには、ペンを挿さない。余分な物は付けない。セレモニーの時は外す。
- ・ズボンのベルトのバックルが体の中央にある。
- ・髪の毛はキャップやハットの中に入れてある。

(3) 姿勢をよくする

姿勢が悪ければ何を着ていても台無しです。百貨店では、店員さんの身のこなしの教育をしています。お客さんが気持ちよくなるようにしていますね。

全体セレモニー、儀礼では姿勢をよくする気持ちに切り替えることができるようになってほしいです。訓練をしている気持ちで、スカウトは少しずつできるようにする。そのためには指導者が見本になる気持ちでしっかりやってほしいです。

2. 団全体でどうしたらカッコよくなれるか

全員が自覚をもって、きちんと着こなしてくれたらカッコよくなります。でも、どうしたらそれができるようになるかが問題です。

(1) 指導者が自覚を持って、カッコよく着こなすことに努める

- ・自覚を持ってもらうためには、目的と目標を持つことです。
- ・指導者は、理屈を学んで、理解し、自覚してください。

(2) スカウトが自覚を持つためには

まず、説明すること。隊長から話をしてあげてください。

また、保護者が自覚することですね。スカウトが、キャップやハット、ネッカチを忘れたら、恥ずかしいのは保護者です。私は、そのように感じています。

- ・スカウトに「カッコよくしよう」といい含め、できたら褒めてあげる。
- ・隊集会、団行事でも評価を続けないと頑張る気持ちが切れます。自覚するまで、何度も言い続けることが重要です。
- ・状況を評価して、できるまで言い続けることが教育です。自分でカッコ良さを自覚できるまでやりましょう。
- ・できたら褒めてあげましょう。

(3) 目的と目標

目的は、相手を気持ちよくさせることです。目標は、当たり前のことを普通にできるようにすることです。

・個人の身だしなみ

きちんと着こなせば、その人の心構えが分かります。やる気で参加しているなど分かります。できたら褒めてあげてください。

・集団のカッコよさ

複数の人が集まれば、組織の姿勢が分かります。組織がしっかり教えていること、組織がアピールしていることが分かります。

団行事では、各隊の日常活動の様子が分かります。地区行事では、団の方針が分かりません。

かっこよく見えれば、外部からは「いい団体だな」と思われます。制服の着こなしで、かっこいい団だなとアピールできるのです。

各隊隊長は、そうすることを目的として躰をお願いします。

(4) 誰が見本になるか

団委員長、副団委員長、団委員、隊長、副長がしっかり見本になるつもりで着こなししてほしいですね。

上述したことを理解して、かっこよい指導者を評価してあげてほしいです。できなければ、2団は品質が低いことになってしまいます。

意識を高めて、スカウトや指導者を評価できるようにしたいです。

セレモニーの時は、指導者は直立不動で見本になってほしいです。大きな声で返事をすることも同様です。

年間ベストドレッサー賞をもうけましょうか。スカウト祭で表彰する。

2団には、かっこいい着こなしをしている指導者がいるでしょう。少ないけどね。隊長が表彰されるようになってほしいですね。

3. かっこ良さを見せよう

団行事、隊員募集、地区行事でかっこいい振る舞いは、見ている人の心を打つはずですよ。

事例として、運動会の開会式で、ローバー隊を中心に足を高くあげて行進する様子に気づいていますか。

吉田隊長が中心にやっていると認識していますが、とても気持ちがいいです。団全体でやりたい。他の団もやったら楽しいな、やってほしいと考えていると思います。

ついでに、本部の前を通るときには、全員で敬礼してほしいです。他の団委員長が感動するでしょう。

当たり前きちんと制服を着こなし、気持ちのいいパフォーマンスをすれば、それだけ他の団と比べればかっこよくなります。

それができれば、一人ひとりが気持ちよくなります。気持ちよさを感じられるスカウトにしたいですね。

4. 親子ハイクで見せましょう

親子ハイクの時を目標にして、少しでも改善してほしいと思います。